

農委業務について意見交換

第1回業務推進検討会

大阪府農業委員会職員協議会(会長・木挽枚方市農委事務局長)は8月1日、大阪市内・J Aバンク大阪信連事務センターで平成30年度第1回農地法等業務推進検討会を開いた。

検討会ではまず、5月に成立した改正農業経営基盤強化促進法等で、農業用ハウス内等の底地を全面コンクリート張りにした場合であっても、農地転用に該当しないものとして扱う旨について農業会議より報告。耕作の用に供する農地の確認は農委が利用状況調査をもつて行うこ

とや、今後が省令で詳細が示され、国が

個々の事例に対応するためのマニュアルを作成すること等を説明し、現場で想定される課題や意見等について協議した。

続いて、大阪府からの情報提供があり、国と地方との意見交換会で議題となった第1種農地における後継者住宅の転用について協議した。

相談事例についての意見・情報交換では、農作業常時従事要件の考え方、農地取得に係る3年3耕作の考え方、農地法第3条第2項第1号の「権利を取得しようとする者又はその世帯員等」の解釈等について議論した。(沼田)



新会員紹介

守口市 西口農委会長

守口市農業委員会は8月21日、会長に西口誠一(しげかず)氏を選出。同氏は報告により農業会議の会員に就任した。

第29回常設審議委員会

市、貝塚市、泉南市、阪南市、堺市、松原市、羽曳野市、八尾市、東大阪市、枚方市、四條畷市農業委員会(会長)については、27件

大阪府農業会議は8月17日、大阪市内・J Aバンク大阪信連事務センターで第29回常設審議委員会を開いた。

第1号議案の農地法第4条及び第5条の規定に基づく意見聴取に回答する件(茨木市、箕面市、和泉市、岬町、岸和田

野菜摂取など課題、府食育計画

食育ネットワーク会議総会

7月19日、大阪府庁本館で平成30年度大阪府食育推進ネットワーク会議総会が開かれた。

総会では本年3月に策定された「第3次大阪府食育推進計画」について説明。

府民の食育をめぐる課題として、野菜摂取量が全国と比べて少なく、若い世代ほど少ないことや、地域や家庭で受け継がれてきた料理等を次世代に伝えていく人の割合が全国的にも少ないことなどがあげられた。

市、貝塚市、泉南市、阪南市、堺市、松原市、羽曳野市、八尾市、東大阪市、枚方市、四條畷市農業委員会(会長)については、27件(2万2073平方メートル)を許可やむを得ないと認める旨、回答することを議決した。

報告事項として、「平成三十年七月豪雨災害義援金の募集」「改

【第1号議案】	件数	面積(平方メートル)
第4条	10	8695
第5条	17	1万3378
合計	27	2万2073

(農地区別別件数は、3種農地13件、2種農地14件)

具体的な取り組みとして、食生活の重要性に関する情報発信や、食の生産・流通に関する体験・交流などを推進していることなどが報告された。

総会ではこのほか、平成29年度事業報告及び決算、30年度事業計画及び収支予算が承認された。(北川)

富田林市農委だより

「かかし」

富田林市農業委員会(中谷清会長)が発行する農業委員会だより「かかし」の創刊は昭和53年10月1日。当時は市街化区域内農地の宅地並み課税問題が農家の関心事となっていた。

創刊時の会長は野浦正次氏。創刊のあいさつでは、「農政活動をはじめ、税関係などさまざまな諸問題について農

業委員会は常に農家のよき相談相手となり、また、農業者の意向が農政に反映するよう努力してまいる所存」と話している。

これまで、昭和55年の農地関連三法(農地利用増進法、農地法・農委法の一部改正)の成立や建議(現「意見提出」)の内容、全国初となった兵庫県洲本市農委との姉妹農委提携、農家結婚相談所の取り組みなどを紹介してきた。

また、「かかし」の記事はバラエティに富んでおり、「農地

と税金」では農地の権利移転・設定の際の税金等を詳細に、「農地相談コーナー」では農地制度を平易に解説し、「土の詩」では農民詩人・村上志染氏の作品を掲載してきた。このほか、「お野菜クッキング」、「四季のことば」など様々だ。

現在まで続く「農声」では、委員がその時々の農政に関して意見を述べている。

富田林市農業委員会
1978
10.1
農委だより

年3回発行しており、最新は137号。府内で2番目に発行回数が多く、HPでは約2年分のバックナンバーを見ることができ。(田村)